あなたもチャレンジ！家庭菜園

ＱＲコード読み取りでバックナンバーが確認できます（スマートフォン対応）

防寒対策

12月に入ると、寒さが本格的になり、生育が緩やかになるとともに、低温による生育障害、霜害が起こります。そのため、作物を寒さから守るためには、被覆資材が必要になってきます。また、作物別に防寒方法が異なるので、効率の良い対策を行い、冬を乗り越えましょう。

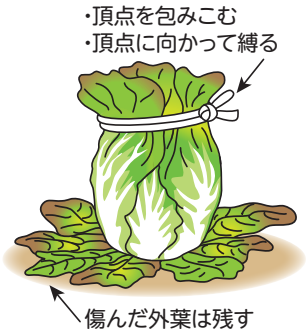
2.作物別対策

① ホウレンソウ、コマツナなど軟弱野菜

霜や風が当たると葉が傷むので、不織布のべた掛けをします。なお、生育促進を主体とする場合は、農業用ビニールでトンネルにします。

② 白菜、カリフラワー

外葉で、結球全体を包むように、ひもで縛っておきます。

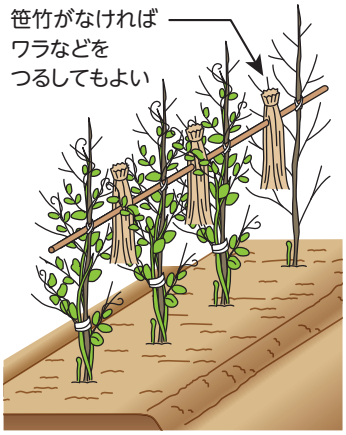


③ ダイコン

－3℃以下になると地上部に出ている、根の部分が寒害を受けますので、首の部分が隠れるように土寄せをします。

④ エンドウ

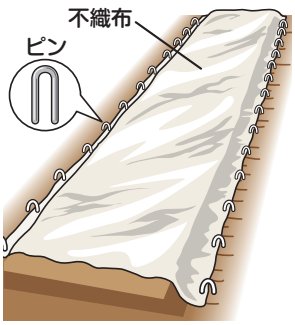
防寒、防風のため、畝（うね）に葉のついた笹竹や支柱を立て、稲わらなどをぶら下げます。



1.防寒の方法

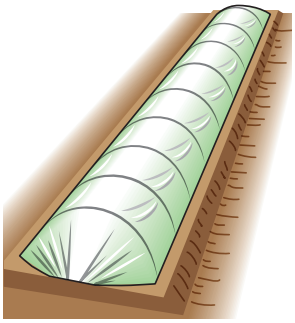
① べた掛け

防寒の方法として一番簡単なのは、不織布（ふしょくふ）や割繊維不織布などを直接葉の上に覆う方法です。周囲をピンで押さえておきます。



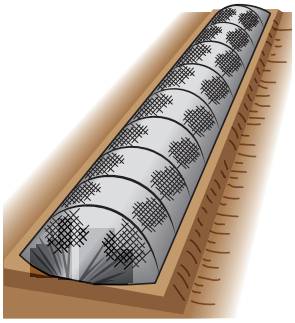
② ビニールトンネル

トンネル用の被覆フィルムには、ポリエチレンよりも塩化ビニールなどでできた被覆フィルムをトンネル状に覆えば、日中の温度の上昇は格段に良くなり、高い保温力が得られます。外気温が高い時期は換気が必要になります。



③ ネットトンネル

寒冷紗（かんれいしゃ）は育ちがやや遅くなりますが、トンネルを覆ったまま上から潅水（かんすい）でき、また、温度が上がってきてもトンネル内が蒸れることがなく、防霜（ぼうそう）などの効果もあります。



営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
● **農作物の栽培方法に関すること**　● **病害虫の防除に関すること**
などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

● **電話番号**
(097)544−6462（むよろず）
※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

● **受付時間**／月・水・金曜日（祝日は除く）8:30～17:00
（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）

● **設置場所**　営農部

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのＪＡ購買店舗をご利用ください。